

令和4年度第2回保呂羽山少年自然の家協働会議 会議録【要旨】

1 日時・場所

令和4年11月28日（月） 午後2時から

保呂羽山少年自然の家 1階 ジュピター（視聴覚室兼研修室）

2 出席者

(1) 委員 6名

阿部会長、藤原委員、高橋委員、渡部委員、佐藤委員、永沢委員代理

(2) 秋田県教育庁生涯学習課 1名

佐々木副主幹（兼）班長

(3) 保呂羽山少年自然の家 6名

畑所長、佐々木副主幹（兼）班長、北畠主任社会教育主事（兼）班長、
小松田社会教育主事、渡辺社会教育主事、中嶋主事

3 次第

(1) 所長あいさつ

(2) 会長あいさつ【阿部会長】

(3) 議事

(4) 生涯学習課あいさつ（佐々木副主幹（兼）班長）

4 発言要旨

- ・一人用テント等を買って揃えることができたのだから、積極的に野外での宿泊体験などを体験させてほしいし、学校への呼びかけも行ってほしい。雨天等のリスクを見込んで避けている可能性もあるが、それらも含めて「自然体験学習」の一環として受け入れて実施するべきではないか。
- ・初めてのことで手間取ったり失敗したりする児童もたくさんいるはずだが、スタッフの支援は最小限でいいと思う。小さなことでも子どもたちにいろいろやってみてもらうことが大切で、失敗も貴重な思い出として持ち帰ってほしい。
- ・子どもたちにやらせたいことはたくさんあるけれども、子どもたちが現状どういう集まりなのかを考慮しなければならないので、管理責任者の身としては、その子どもたちに合った活動をやらせてあげたい。もっと多くの活動をした子どもは主催事業という選択肢もある。
- ・保呂羽山少年自然の家では Facebook により情報発信を行っているが、SNS 事情を考えると、Instagram など他媒体を使っている人の方も多いため見受けられるので、主催事業の参加者に口コミとして発信をお願いすることもよいと思う。うまく広がれば、今後の主催事業の申し込みなどが増える可能性はあるのではないか。